

上尾市議会議員

あさのめ義英
議 会 報 告

【1990年11月】

〒362 上尾市原市3335

☎723-0655

Don't Mind!

どんまい

熱血で歩んだ
20号!! 皆さんの

ご支援に感謝。

真実から目をそむけて、
子らに本当の姿を認めるか。
未来を信じないで、
子らに新しい時代を語れるか。
理想をもたないで、
子らに熱い夢抱けと語れるか。

堂々と生きないで、
子らに誇りをもてと言えるか。
スクラムの外にいて、
子らに仲良くしろと言えるか。
たたかいから逃げて、
子らに勇気ふるえと言えるか。

環境センターはもうバンクク寸前

上尾市内から出されるごみは、すべて平方にある四員環境センターに搬入されています。現在年間約5万tもの大量のごみを前にして、同センターはバンクク寸前です。

上尾市は、ほぼ徹底した分別収集を実施していますが、金属の日に混入された金属よりも、可燃ごみの日に混入して出された金属の方が15倍も多いという現実をみた時、市民の方々の理解と協力が不可欠です。



▲金属の混入などで、焼却炉はとても痛んできました。写真は地下14mのピット。ゴミの多さに息をのんでしまいます。

ごみ非常事態にご理解を

ごみ袋システム周知の努力不足

11月1日からスタートした。市衛生組合指定ごみ袋しか使用してはいけないという制度は、多くの混乱があり、私も次の点について12月議会では市当局を追及したいと考えています。

①なぜ袋を酒店のみでしか販売しないのか。②なぜ大型の袋のみしか販売しないのか。③このシステムについて、市は周知徹底のための努力不足だったのでないか。他です。

燃えるゴミは市指定袋、しか収集しません

▲低燃焼カロリーごみ袋の使用をよびかける上尾市の上尾市の広報紙。



▲街角で友人と

▶仲山道大綱引きまつり



'90 AUTUMN あさのめ topics



▶青年会議所で献血運動

▶交通事故多発ポイントの交差点中心に埋設シグナルが設置されました。



上尾市総合計画(1991年～2000年) 可決のため賛成討論 反対を圧倒



浅野目の賛成討論

議案第71号「上尾市総合計画基本構想の改訂について」の賛成の意思表示を、新政クラブを代表して行いたいと思う。

この「人と地球にやさしい都市をめざして」Earth Plan Agee 21は、現在から続く10年間という長いタイム・スパンの中の、上尾市の未来をみつめたまちづくりの構想だ。

市民と行政が互いの領域に踏み込んで描く将来の都市モデルを、より着実に具現化していくための考え方、方向性、その実現の手法、かつプログラムを内容としてかなり充実したものとして完成したと考えられる。

この構想の評価の断定は、いかにその内容が、時代の変化に対応しているか、これから対応しきることができているか、といった点であると考えられる。

この構想は、活力ある上尾市をつくり上げるための、土地利用構想を含めた将来都市像の設定、またこれを実現するための、六つの施策の大綱が示されており、今現在、上尾市のおかれた現状を厳しく認識しつつ、将来にわたって、上尾市が生きていきと輝く街づくりができるように、基本方針が明確かつ大胆に描かれていると判断される。

また今後10年、次の時代のための街づくりの指針となるべきこの構想は、市民の賛同や合意が常に得られなければならないことは必然である。「トーキング上尾21」で延べ60名もの各界各層の市民の意見を長い時間をかけて聴取したばかりでなく、市民の代

浅野目は、カンどころをおさえた賛成論を堂々展開。反対論をもち出した議員を、斬新で的確な論拠、抜群の表現力で圧倒しました。「荒井市長の与党という立場は、守るということではなく攻めるといって輝く。」と彼が語るとおり、好ましい市長政策には惜しみなく高い評価を与える、といった強い意思で「上尾市総合計画」の可決に向け、強力な支援を最先頭でおこないました。

彼の賛成討論は「いささかの危なげもなく見事だった」と関係者からその力量を絶賛されました。

表からなる「振興計画審議会」の12回に及ぶ議論の集約が、この構想の血となり肉となつていて、考えられるが、市民からわき上がったまちづくりの情熱をフィードバックさせた点についても好感がもたれる。

この構想の基底に流れている「人と地球にやさしい都市をめざして」の発想着眼は、人類が繁栄をあきらめず、生命と環境を守らなければならない、そのためには何かを今やらなければならないといった危機的状況が迫っている中で、地球全体の問題を地球のスケールごとに、地球市民として、解決をしなければならぬ現実を私たちに与えたとして、高い評価を与えたい。

さらに、この構想の中の憲法の視点について、議論があったようだ。憲法は決して飾り物ではなく、わが国、国民生活の隅々にまでつながつているものである。「憲法」の字句が表現としてこの構想の中に頻りに出現してくることを望んだ声もあつたやに伝え聞いているが、内容として、憲法の理念、精神に合致しない点は、全く見当たらず、45年前、戦争の惨禍が再び起こることのないように決意され、「わが国全土にわたって自由のもたらす恵沢を確保」するため、国家の名譽にかけ全力をあげて、この崇高な理想と目的を達成することを誓って、つくられた日本国憲法、また地方自治法の理想、理念が、この構想に着実に反映されていると感ぜられる。

いずれにしても、「基本構想」は、新時代の要請に応えたと考えられ、かつ積極的、意欲的にまちづくりのための、市民と行政の共同作業の成果として高い評価を与え、新政クラブは賛意の意思とした。

以上

三 かの時に言いそびれたる言葉今ものこれど (啄木)

▼高校時代のクラスメイトの S 子さんが自ら命を断ってしまつた。いと、級友が電話で伝えてきた。互いの未来を信じて卒業したの余りに驚いて頭が少し混乱しそ うになったが、何人かに連絡を し、大急ぎで同級生二人と通夜 に向かった。夜道を走る車の中 で、色々なことが思い起こされた。 力を合わせて頑張った文化祭の 出店企画が大成に終わり、そ の後教室で、みんな で知っている歌をあ りつけた歌ったこと、 その時彼女もそこに いたこと、私の斜め 前の席にすわって いたこと、そうだ不得 意だった化学のノ ートを借りたことがあ る。十五年も前の凝固した過去 が次々と溶け出していた▼葬儀 が終わって約一か月後に、徳ぶ が開いた。同級生の半分位が 集まった。結婚、離婚、再婚、自 殺、笑っている顔しかうかばな い S さんの最後の十年をそこで 聞いた時、彼女の不幸を誰かに 大声で文句を言いたかった。多 り続けているだろうということ 感な時代に、私たちは共に学び、

笑い、怒り、励まし合った。夢 っぽい胸を高鳴らせながら、 互いの未来を信じて卒業したの に、その一人が、絶望のうちに 命を散らしていった事実、私 も同級生たちも言葉が無かった。 ▼少しいやなことがあったけど、 よいこともあった。大部分の人 の大部分の一日が、そんな風 に過ぎていく。しかし、厄介なこ とばかりが繰り返し返り かつている人は、何も 映画や小説の世界だけで はない。ギリギリの精神 でこの世を去っていく。白 殺者は、年間二万人にも 達する。もっと同窓会を 頻繁に開いていけば、彼 女を救えたかもしれない。



浅野目義英

昭和33年5月27日東京都生まれ。父は非鉄金属メーカー研究員、母は小学校教員。幼児期を父の故郷山形県米沢市で送り、7歳の時上尾市に。上高、法大卒後、小学校教員。

昭和58年冬、少年期からの夢だった市議選にチャレンジ。地盤と資力の無 い中で、若者たちを総動員。「若い力での政治改革」を訴え、次第に支持者を拡大。熱狂的な選挙戦を展開し、史上最年少の25歳で初当選。4年間で45もの一般質問。新時代のための発言と行動を繰り返し、1期目を全力疾走。

昭和62年冬、多くの支持を受け、29歳でV2達成。厚生委員会副委員長、決算特別委員長など要職歴任、政治手腕を発揮。若々しい発想と果敢な行動で関係者からの高い評価を集めている。

現在、公共施設整備調査特別委員長、自転車対策審議会長、スポーツ振興審議会委員、上尾自由塾塾長、アムネスティ日本支部委員、上尾青年会議所所属。妻と一男の三大家族。吉田拓郎と浜田省吾をこよなく愛す。(カス)

PROF ILE 浅野目義英



編集後記

▼このコーナーを担当して約一年が経ちました。今回で担当者が代わります。4回もの間、稚拙な文章を読んで頂き、ありがとうございます。米春から、Y新聞の記者として社会人生活をスタートします。▼浅野目さんの2度目の選挙の時、スタッフとして行動を共にしました。いつも前向きで、また喜怒哀楽の強い所があり、私はとてもひかれました。選挙の時、若いスタッフを前にして、「既製品になるな」「耐え切れなくなるまで耐えろ」と彼が言ったのが忘れられません▼トチノキの葉も落ちました。ハナミズキが濃い緋色の実をつけました。喜び悲しみ色々なことが思い返されると思われますが、今年もあと一月余りになってしまいました。まだやり残していることはありませんか?▼それでは、一年間本当にありがとうございました。(田中)

より一層のご支援を!

後援会々員を募集中です。若い力で疾走する「あさのめ義英」へのお力添えを心からお願ひ申し上げます。

(口座名)「あさのめ義英後援会」
郵便振替口座「東京7-355-98」
会費年間一口千円